

調査概要

(1) 調査目的

立地適正化計画の策定に向けて、今後の目標設定や施策等の検討に反映できるよう、市民の意向を確認し、まちづくりに関わる現状や課題を把握することを目的として、アンケート調査を実施した。

(2) 調査対象

無作為抽出によって、18歳以上の市民1,500人を対象とした。

(3) 調査方法

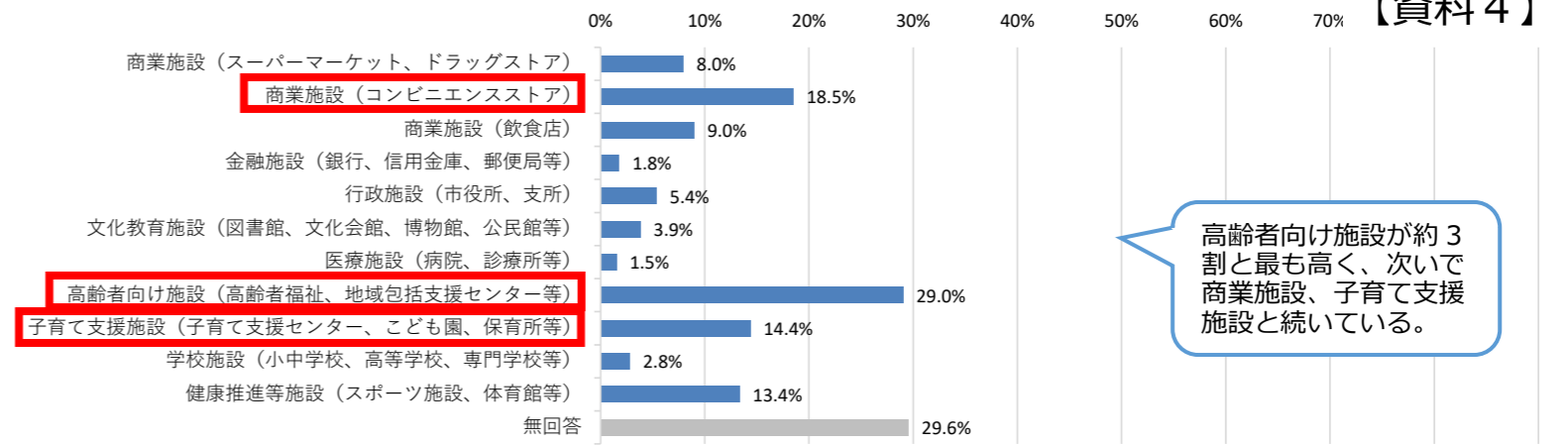
郵送での配布及び回収

(4) 調査時期・期間

令和4年11月7日(月)から11月30日(水)までの約3週間

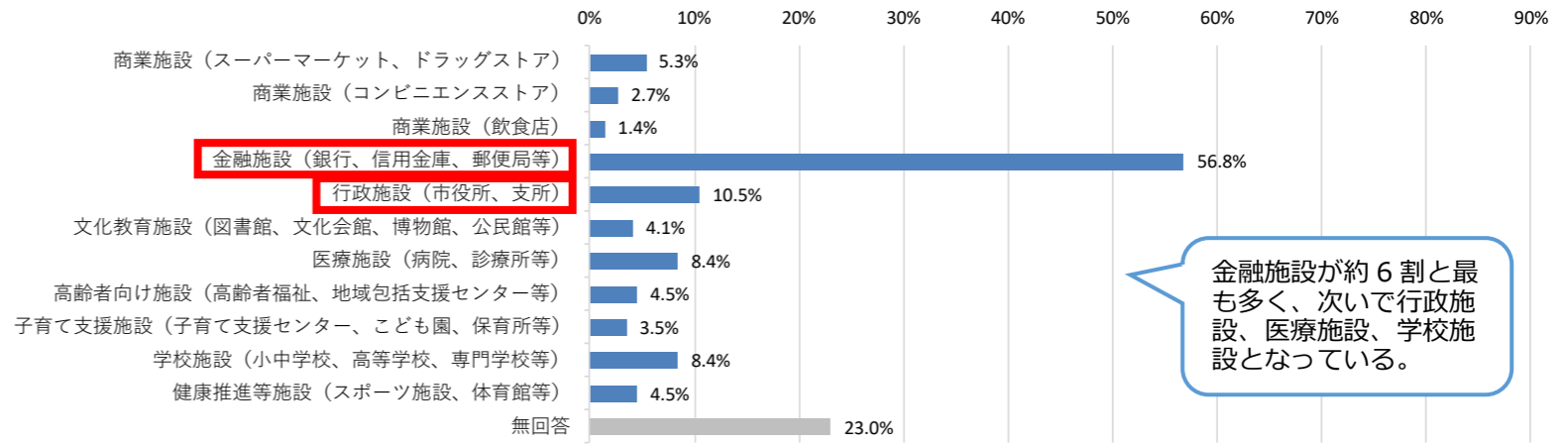
(5) 回答結果

| 配布数 | 回収数 | 回答率 |
|-------|-----|-------|
| 1,500 | 552 | 36.8% |



高齢者向け施設が約3割と最も高く、次いで商業施設、子育て支援施設と続いている。

図5 行田駅周辺で「ないと困る施設」(n=389)



金融施設が約6割と最も多く、次いで行政施設、医療施設、学校施設となっている。

図6 行田市駅周辺で「ないと困る施設」(n=486)

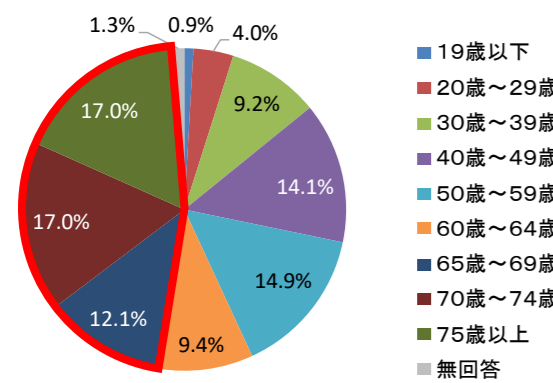


図1 回答者の年齢 (n=552)

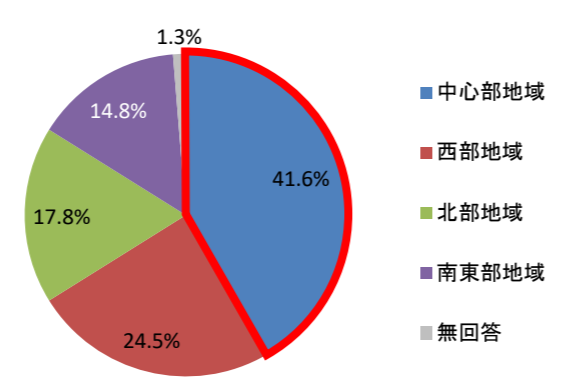


図2 回答者の居住地域 (n=546)

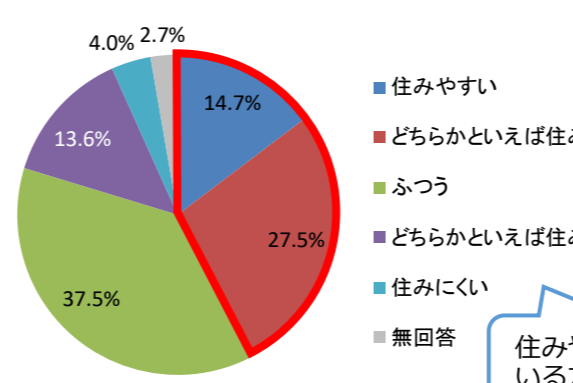


図7 行田市の住み心地 (n=552)

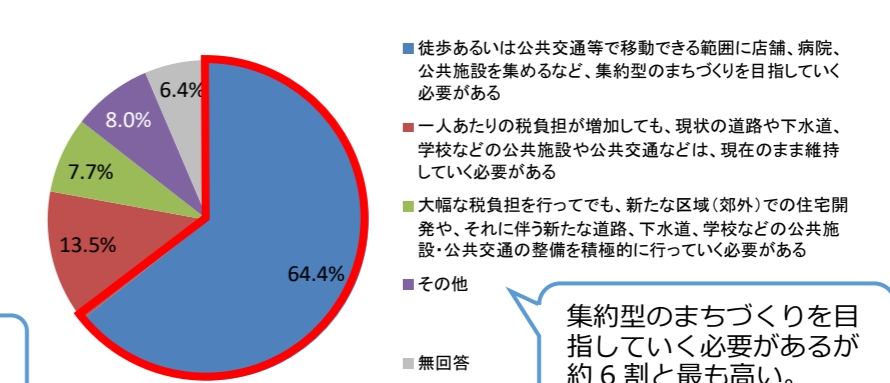


図8 行田市の今後のまちづくり (n=547)

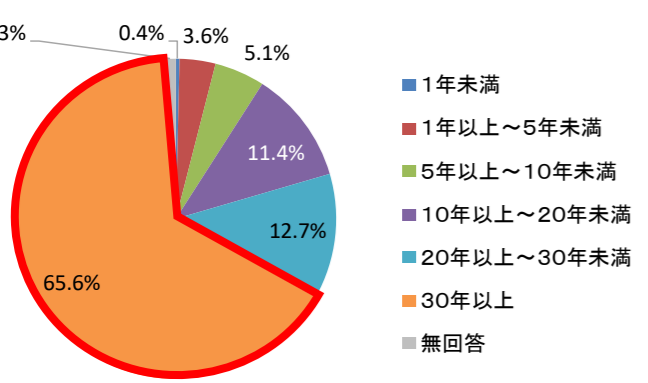


図3 回答者の居住期間 (n=552)

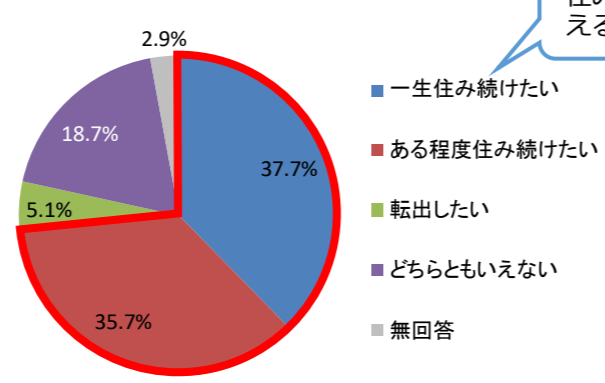


図4 行田市への居住継続意志 (n=552)

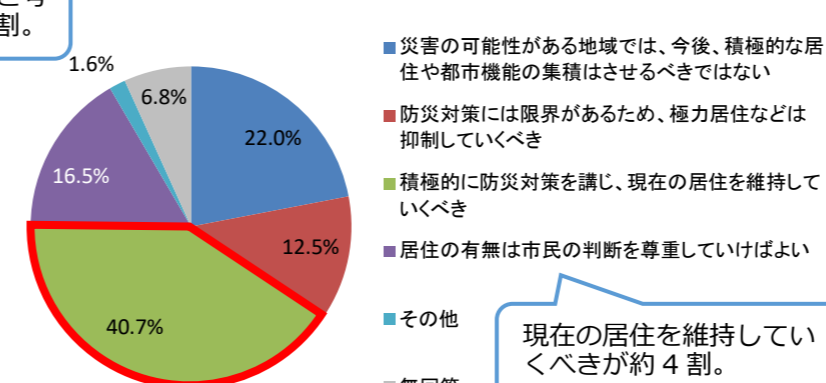


図9 災害可能性のある地域の今後の方向性 (n=546)

【自由意見】

| | |
|------------|----------|
| 施設の整備・立地 | 延べ 85 件 |
| 公共交通 | 延べ 36 件 |
| 低未利用地 | 延べ 23 件 |
| 道路等の都市インフラ | 延べ 22 件 |
| 防災・減災 | 延べ 12 件 |
| その他 | 延べ 278 件 |

住みやすいと感じている方が約4割。

住み続けたいと考える方が約7割。

現在の居住を維持していくべきが約4割。